



守屋多々志作「竹千代出陣」

大垣市議会だより

発行：大垣市議会 編集：市議会だより編集委員会 TEL：0584-47-8073

大垣市民の誓い

私たちは 水を生かし
緑を広げ 安全に努め
心を育て 助け合います

<インターネットURL>
大垣市議会 検索

大垣市議会議員
22人が決定

岩井哲二(6期)	石川まさと(6期)	岡田まさあき(7期)	横山幸司(7期)	高橋滋(7期)	林新太郎(8期)	高畑正(10期)
日比野芳幸(3期)	山口和昭(3期)	笹田トヨ子(4期)	石田仁(4期)	川上孝浩(4期)	岡本敏美(5期)	丸山新吾(6期)
中田としや(1期)	空英明(1期)	北野ひとし(1期)	関谷和彦(1期)	長谷川つよし(2期)	中田ゆみこ(2期)	田中孝典(3期)
					粥川加奈子(3期)	

平成27年度の重点プロジェクトと主な事業

「地域活力創造」
本市に転入される方のうち、市内に親世帯がある方について転居費用の一部を助成するほか、子育て世帯の転入に対して実施している新築住宅等借入金に係る利子補給の対象地区等を拡大するもの。

「安全・安心」
地域拠点避難所である小中学校屋内運動場において、天井からの照明器具等の落下を防ぐ耐震対策を実施し、児童生徒・避難された方の更なる安全確保を図る。

「環境・エネルギー」
電気自動車やプラグインハイブリッド自動車などの次世代自動車を、災害時の非常用電源として活用するための給電機能の装備に助成するもの。

「子育て日本一」
留守家庭児童教室の開設時間を延長し、保護者が安心して働く環境づくりを推進するもの。

「かがやきライフ」
30歳の節目を迎えた方を対象とした「2分の3成人式」を開催し、地域における人と人との出会いやつながりの機会を提供するもの。

定例会日程

- | | |
|------|------------------------------|
| 3月2日 | 本会議（提案説明） |
| 9日 | 本会議（一般質問） |
| 11日 | 子育て支援日本一対策委員会
市民病院に関する委員会 |
| 12日 | 建設環境委員会 |
| 13日 | 経済産業委員会 |
| 16日 | 文教厚生委員会 |
| 17日 | 企画総務委員会 |
| 18日 | 議会運営委員会、本会議 |

第1回市議会定例会
第1回市議会定例会を3月2日から18日までの日程で開催しました。

初日には大垣市功労章を授与することなど2議案を先議、市長から平成27年度一般会計予算など45議案について提案説明を受けました。

9日には12名の議員が一般質問を行い、11日から17日には各委員会において付託議案の審査を慎重に行いました。

18日には、市長提出議案

可決された主な議案

平成27年度当初予算

一般会計が598億9000万円、前年度比5.6%増、特別会計は537億4000万円、11.5%増、企業会計は384億3300万円、2.2%増、総額1520億6300万円、6.7%の増となっている。

補正予算

国の補正予算において創設された「地域住民生活等緊急支援のための交付金」を財源に、「まち・ひと・しごと創生」に向けた支援等13事業費として2億3240万円を計上。

国の追加補助採択に伴い、中学校の教室に空調機を設置するための事業費3億6000万円を計上。

条例等

大垣市旧清水家住宅条例の制定

市重要文化財である旧清水家住宅の保存と活用を図るため、設置及び管理について規定するもの。

意見書

米の需給・価格安定対策及び需要拡大に関する意見書

ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充を求める意見書

農業の発展に必要な生産基盤整備の拡充を求める意見書

45議案を可決、請願1件を採択、議員提出議案3議案を可決、1議案を継続審査とし閉会しました。

一般質問

3月9日に一般質問を行いました

歴史まちづくりの取り組みについて

石田 仁

質問…本市の歴史的文化的評価が高まる中、今こそ本物の城郭跡等の調査、復元をはじめ歴史的街並み整備など歴史まちづくり法等を活用した、本物をきちんと後世に伝える歴史まちづくりに取り組む時だと考える。整備時、当然問題となる都市計画道路等、長年の課題への対応を含め、考えを問う。

答弁…本市では、文化資産の保存や活用を図るため、後世に伝承するべき景観を有する建造物等を大垣市景観遺産として指定する市独自の制度を設けている。

今後は、歴史まちづくり法の趣旨に沿い、歴史上貴重な文化財などとその周辺地域が一体となった歴史的風致を維持向上するための計画策定について研究し、本市全体の歴史的・文化的評価をさらに高める取り組みを進めていきたい。

都市計画道路の見直しについては、必要性や規模の妥当性等について、検証を

行い、存続や廃止等の見直し方針案をまとめる予定であるが、地域の特性も考慮していきたい。



大垣城

新庁舎建設に伴う財政運営について

笹田 トヨ子

質問…オリンピッククや震災復興で建設資材等が高騰する中、100億円規模の庁舎建設が進められている。財源の大部分が臨時財政対策債で負担が大きくなり、超高齢社会を乗り切るには大きな足かせになると予想される。この時期に新庁舎建設を行う必要があるのか。住民投票を行ってはどうか。

答弁…新庁舎建設は、後年度の財政負担を考慮し、本年度末で約40億円となる公共施設整備基金を建設時までに積み増しするとともに、財政措置が手厚い合併特例債を活用していく。こうした場合、今後の公債費の見込みは、平成34年度にピークを迎え、59億円程度となるが、過去のピークであっ

た平成14年度の66億円を下回るものと想定している。

改築については、平成25年4月の市長選挙において、その必要性をご説明申し上げており、市民の皆様からご賛同いただいたと認識している。

しごと創生に向けた支援について

富田 三郎

質問…人口を増やしていくためには、しごと創生に力を入れていく必要があり、国の地方創生の取り組みでも創業支援には重点を置いている。産業及び経済の振興や雇用創出は重要な課題であり、商工団体や金融機関などと連携し、民間の専門性を生かすべきと考える。本市の取り組みは。

答弁…大垣市雇用戦略指針に基づき、雇用、就労に関する諸事業を積極的に推進し、企業立地奨励制度の拡充や継続的な適地調査など、雇用につながる企業誘致に努めている。

創業支援については、産学官連携のもと、商工会議所が中心となり、創業を目指す方や創業して間もない経営者を対象に、様々な疑問、課題の解決に向けた創業支援総合窓口の開設や実践的な研修を行う創業塾が開催されている。

国の重要無形民俗文化財指定の大垣祭軸について

山口 和昭

質問…大垣祭が東西文化融合の祭礼で藩主下賜の軸と町衆の軸が併存することが希少であることから、国重要無形民俗文化財に指定され、ユネスコ無形文化遺産の候補にも追加申請されることになった。これを記念し、各種イベントに、軸の展示を行い、大垣城周辺の多目的交流イベントハウスに常設展示してはどうか。

答弁…大垣祭の軸行事は、10カ町の皆様をはじめ、関係者の長年にわたるご努力が評価されたものであり、大垣祭を後世に守り伝えていかなければならない。

祭軸常設場については、本市の観光振興を図る上でも効果が期待できる一方で、各町内の皆様の協力や、文化財の展示施設の整備等の課題もある。

今後も、大垣祭の保護、継承をはじめ、PR方法について関係者の皆様と連携し、研究していく。

大垣祭軸



老老介護について

長谷川 つよし

質問…高齢化の進展に伴い介護を必要とする人が増え、高齢者が高齢者を介護する老老介護が増加の一途をたどっている。そんな中、市内では懸命に介護に尽くしながらも、将来への不安から悲しくも痛ましい事件が起きた。再発を防ぐためにはどうしたらいいか。現状の在宅介護支援体制の検証と再発防止策を問う。

答弁…介護者の負担を軽減するため、地域包括支援センターや介護支援専門員が相談を受け、介護者が心身のリフレッシュを図れるよう、要介護者のデイサービスやショートステイなどの利用を促している。

また、地域において、あんしん見守りネットワーク事業の中で民生委員等による声かけなどをお願いしている。

今後も、居宅介護支援事務所や地区社会福祉推進協議会などの関係機関と連携を図り、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう取り組んでいく。

赤坂総合センターの今後についての提案

野田 のりお

質問…赤坂総合センターは合併を記念して48年前に建設されたが、耐震補強が不可能ということで、将来解体される。この跡地に金生山にある化石館を移動させ、昼飯大塚古墳の出土品の展示や大理石産業、石灰工場などの歴史を伝える博物館を含む、総合的な施設の建設を提案する。

答弁…赤坂総合センターは、市民の文化及び福祉の向上を図る総合施設として、昭和43年に設置されたが、経済社会情勢の変動に伴い、利用者ニーズの変化、地区センターなどの整備により、役割は低下しつつある。

また、耐震性が低く、老朽化も著しいことから、今後の維持管理に膨大な費用が必要になるため、廃止を含め、今後のあり方について検討している。

総合的施設の整備については、厳しい財政状況を踏まえ、市民の利用度や費用対効果などから、難しいのではないかと考える。

赤坂総合センター



野性を育て夢かけて
走る子供たちを大垣から

田中 孝典

質問…大垣市文教協会設立50周年式典の講演で世界的建築家の安藤忠雄さんは「野性を育て夢かけて走る子供たちを大垣から」と何度も提言された。合併で大なる里山の地を得た大垣市として市内都市部あるいは全国に「大垣市の里山で伸び伸びと子育てをしよう」と呼びかけて欲しい。市長の意思を問う。

答弁…現在、市内全ての小中学校において、自然の中での体験学習を積極的に取り入れた宿泊研修を実施するとともに、新年度からは、ふるさと大垣科を教科として新設し、自然や歴史、伝統文化等を学ぶことを通して、大垣への誇りと愛着を持ち、自ら考え判断して行動する力を育んでいく。

また、自然豊かな環境のなかで、子育てを希望される方などに、都会にはない

里山での体験学習



美しい里山に囲まれた上石津地域の魅力を情報発信するため、田舎暮らしを支援するふるさと回帰支援センターや移住交流推進機構などが開催するフェアを積極的に活用し、移住定住の促進に努めていく。

高学年児童の居場所について

粥川 加奈子

質問…本市の留守家庭児童教室に入れるのは4年生までだが、5・6年生になると、ひとりきりでの留守番をしなければならず、長期休暇などは特に心配だという市民の訴えがあった。6年生まで延長を望むが、指導員不足が課題であるため、地域のボランティアや既存の組織、NPO等との協働を試みてはどうか。

答弁…本市の留守家庭児童教室は、子育て世代の保護者が安心して働ける環境づくりをさらに進めるため、新年度より午後7時まで開設時間を延長する。

長期休業中に高学年児童を受入れることについては、教室の確保や整備、指導員の増員等の課題もあり、今後研究していく。

また、公共施設を利用した地域での留守家庭児童教室の開設については、施設に空きスペースがなく、多

くの児童を健全に育成するための受け入れ体制が整っていないので、実施するには難しい状況である。

凍結予防のカーブミラーについて

中田 ゆみこ

質問…冬はカーブミラーの凍結等により安全確認ができず危険な状況になる。長野県の企業が開発したカーブミラーは、熱伝導率の良いステンレス製で凍結や結露を防ぐことができ、全国の自治体で導入が進んでいる。

本市でも市民の安心・安全のため、このカーブミラーの導入を望む。

答弁…凍結予防のカーブミラーは、鏡面裏側に特殊な加工を施し、鏡面温度を制御する方式などを用いた器具であり、寒冷地などで設置されている。本体価格は下がってきているが、鏡面自体が重くなるものもあり、場合によっては基礎ごと交換する必要がある。割高になることもあるため導入には至っていない。

しかし、冬季の早朝においてはカーブミラーが曇り、安全性が低下している現状はあるので、曇り防止方式、設置方法や効果などの調査を行いながら、設置について研究をしていく。

カーブミラー



地方創生と大垣市の未来について

横山 幸司

質問…昨年11月に成立したまち・ひと・しごと創生法に基づき、都道府県や市町村には、新年度末までに地域の事情を踏まえた地方版総合戦略の策定が努力義務として課された。

本市としての創生戦略の組織、地方移住の受け入れ及び地場産業、企業誘致、観光の取り組みはどうか。

答弁…本市においても、大垣版総合戦略を平成27年度に策定するとともに、新たに地域創生戦略課を設置し、取り組んでいく。

地方移住の受け入れは、子育て世代の定住促進を図るため、市内に親世帯のある方に対して転居費用を助成するほか、市内への転入に対する利子補給の対象区域の拡大をし、対象者に若年世帯を加えて実施する。こうした支援等を県が東京に開設する「清流の国ぎふ

移住・交流センター」と連携し、情報発信に努め首都圏から本市への移住を促進していく。

地場産業、企業誘致は、企業展への出張支援や、人材育成支援、開設費用の助成などに取り組み、競争力強化や企業誘致に努める。

観光では、国の重要無形民俗文化財に指定された大垣祭等を生かした観光PRにより、国内外から誘客を図っていく。

市民病院改革について

岡田 まさあき

質問…国は公立病院改革ガイドラインを発表予定である。一般急性期病院から高度急性期病院への移行は急務であるが、平成29年度までの中期計画の進捗状況と患者対看護師の7対1看護配置の達成時期はいつか。

また、職員共済会の売店事業は、本来、事業者を募集するべきではないか。

答弁…大垣市民病院中期計画では、地域住民が望むマグネットホスピタルを実現するため、10の基本施策と41事業を掲げ取り組んでおり、平成26年度の実施計画目標については、昨年10月末時点で85%を達成している。

7対1看護配置の導入は、高度急性期病院とし

て、より手厚い看護をするために、必要と考えており、部分休業の実施や24時間保育など働きやすい環境を整え、看護師増員に努めていく。今後も西濃医療圏域の基幹病院として、地域住民の信頼と期待にこたえていく。

※マグネットホスピタルは患者・医師・看護師を磁石のように引きつける病院

主要道路上の車両の載せおろしについて

富田 せいじ

質問…最近、国道258号線沿いにB社とG社という車販売店ができた。道路は安全であり、通行の妨げは許されない。朝の混雑時間帯にも車両の積み下ろしを行い、交通誘導員もいない。事故の危険性があり改善すべき。何故今日まで改善が見られなかったのか。改善をすべく、警察に強く申し入れを願う。

答弁…主要道路における、いわゆるキャリアカーからの車の載せおろしについては、これまでにも事業者には、交通安全対策をお願いしている。

今後、敷地内の作業を基本とし、やむをえず道路上で作業を行う場合は、交通整理員の配置を徹底するよう関係機関とともに指導していく。

